



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社揚羽 上場取引所 東
コード番号 9330 URL <https://www.ageha.tv/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）湊 剛宏
問合せ先責任者 （役職名）執行役員経理財務部長 （氏名）奥野木 勲 TEL 03(6280)3336
半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	946	7.6	94	△2.9	93	△1.8	58	△9.0
2024年9月期中間期	879	—	97	—	95	—	63	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	40.92	40.54
2024年9月期中間期	45.05	44.15

（注）当社は、2023年9月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2024年9月期中間期に係る対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	1,492	1,020	68.4
2024年9月期	1,292	955	74.0

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 1,020百万円 2024年9月期 955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	12.1	50	—	48	13.7	32	15.2	22.50

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 通期営業利益の対前期増減率は1000%以上のため「—」と記載しております。

3. 2024年11月14日に開示しました業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益に変更はございませんが、ストックオプション行使に伴う発行済株式数の増加により、1株当たり当期純利益が変動しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年9月期中間期	1,428,500株	2024年9月期	1,418,700株
2025年9月期中間期	45株	2024年9月期	45株
2025年9月期中間期	1,420,113株	2024年9月期中間期	1,418,072株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年5月19日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、2025年5月14日（水）にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間貸借対照表に関する注記)	7
(中間損益計算書に関する注記)	7
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(収益認識関係の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、個人消費に一部足踏みが見られるものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されています。しかしながら、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れなどを通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社は、「一社でも多くの企業のブランディングに伴走し、日本のビジネスシーンを熱く楽しくする!」というミッションを掲げ、昨今、企業において高まるコーポレートブランディングに関する課題解決のニーズに応えるべく、クライアント企業を分析し、独自性や強みを見出し、ブランディングにおける課題導出・戦略策定といったコンサルティングから映像、WEBサイト、グラフィック(パンフレット等)といったクリエイティブツールの制作、ソリューション(課題解決等)までのサービスを一通貫、そして循環させながら提供できる“伴走者”であることを強みとし、企業のブランディングを支援するサービスの提供に注力してまいりました。また、昨今は当社サービスに対する顧客満足を背景に、顧客企業の他部門における新たなニーズを引き出し、その課題解決のための提案活動により、同一顧客における深耕拡大に取り組むとともに、今後のリピート受注を拡大していくために新規受注社数の増加に取り組んでおります。

当中間会計期間の経営成績は、売上高946,050千円(前年同中間期比7.6%増)、営業利益94,189千円(前年同中間期比2.9%減)、経常利益93,977千円(前年同中間期比1.8%減)、中間純利益58,111千円(前年同中間期比9.0%減)となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載は行っておりませんが、事業支援領域別の売上高は、コーポレート支援領域は618,614千円(前年同中間期比8.7%増)となり、リクルーティング支援領域は327,436千円(前年同中間期比5.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は1,492,767千円となり、前事業年度末に比べて200,216千円増加いたしました。これは主に、前事業年度末日前に受注した大型周年イベント案件にかかる広告媒体費が費用化されたこと等により流動資産その他に含まれる前渡金が65,773千円、前事業年度末に増加した売掛金を回収したことにより売掛金が29,560千円、当中間会計期間末に多くの案件が納品されたことで仕掛品が15,330千円それぞれ減少した一方、150,000千円の借入実行や売掛金の回収に伴い現金及び預金が268,050千円、社内システムの年間ライセンス料等の支払いが行われたことにより流動資産のその他に含まれる前払費用が23,490千円、基幹システムの稼働開始により無形固定資産が15,727千円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は472,312千円となり、前事業年度末に比べて135,744千円増加いたしました。これは主に、買掛金が28,370千円、前事業年度末の未払賞与の支払い等により流動負債のその他に含まれる未払金が7,102千円それぞれ減少した一方、150,000千円の借入実行に伴い1年内返済予定の長期借入金が13,398千円及び長期借入金が94,382千円増加したことに加え、流動負債その他に含まれる未払消費税等が30,965千円、未払法人税等が30,293千円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,020,454千円となり、前事業年度末に比べて64,471千円増加いたしました。これは中間純利益58,111千円の計上により利益剰余金が増加したことに加えストックオプションの権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,200千円ずつ増加したこと等によるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末より268,050千円増加し、850,047千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動による資金の増加は178,387千円(前年同中間期は資金の減少129,305千円)となりました。これは主に、前払費用の増加額23,341千円及び仕入債務の減少額28,370千円により減少したものの、税引前中間純利益93,977千円、売上債権の減少額29,560千円及び前渡金の減少額65,773千円により増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動による資金の減少は24,518千円(前年同中間期は資金の減少2,905千円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,657千円及び無形固定資産の取得による支出18,800千円により減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動による資金の増加は114,181千円(前年同中間期は資金の減少188,698千円)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出42,219千円により減少したものの、長期借入れによる収入150,000千円により増加したこと等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想については、2024年11月14日の「2024年9月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,996	850,047
売掛金	491,448	461,887
仕掛品	47,500	32,169
その他	107,057	71,796
流動資産合計	1,228,003	1,415,900
固定資産		
有形固定資産	18,625	22,267
無形固定資産	8,522	24,249
投資その他の資産	37,400	30,348
固定資産合計	64,548	76,866
資産合計	1,292,551	1,492,767
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,778	85,408
1年内返済予定の長期借入金	47,769	61,167
未払法人税等	4,976	35,270
その他	101,151	127,126
流動負債合計	267,676	308,972
固定負債		
長期借入金	52,825	147,207
資産除去債務	16,066	16,133
固定負債合計	68,891	163,340
負債合計	336,567	472,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,350	282,550
資本剰余金	269,350	272,550
利益剰余金	407,336	465,448
自己株式	△41	△41
株主資本合計	955,995	1,020,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11	△52
評価・換算差額等合計	△11	△52
純資産合計	955,983	1,020,454
負債純資産合計	1,292,551	1,492,767

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	879,591	946,050
売上原価	373,960	413,748
売上総利益	505,631	532,302
販売費及び一般管理費	408,593	438,112
営業利益	97,037	94,189
営業外収益		
受取利息	4	299
為替差益	47	36
その他	49	49
営業外収益合計	100	384
営業外費用		
支払利息	1,463	441
固定資産除却損	-	154
営業外費用合計	1,463	596
経常利益	95,674	93,977
特別損失		
固定資産除却損	25	-
特別損失合計	25	-
税引前中間純利益	95,648	93,977
法人税、住民税及び事業税	19,798	28,848
法人税等調整額	11,971	7,017
法人税等合計	31,770	35,866
中間純利益	63,878	58,111

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	95,648	93,977
減価償却費	1,870	4,933
受取利息	△4	△299
支払利息	1,463	441
固定資産除却損	25	154
売上債権の増減額(△は増加)	△228,111	29,560
棚卸資産の増減額(△は増加)	25,466	15,330
前渡金の増減額(△は増加)	△60	65,773
前払費用の増減額(△は増加)	△17,939	△23,341
仕入債務の増減額(△は減少)	37,435	△28,370
未払金の増減額(△は減少)	△36,076	△7,102
未払費用の増減額(△は減少)	△3,813	△3,210
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,033	30,965
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△5,006	1,756
前受金の増減額(△は減少)	45	7,356
その他	1,478	△15,460
小計	△119,543	172,465
利息及び配当金の受取額	4	299
利息の支払額	△1,603	△536
法人税等の支払額	△10,135	△310
法人税等の還付額	1,972	6,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	△129,305	178,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△296	△5,657
無形固定資産の取得による支出	-	△18,800
投資有価証券の取得による支出	△59	△60
保険積立金の積立による支出	△2,549	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,905	△24,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	△188,938	△42,219
株式の発行による収入	240	6,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,698	114,181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△320,909	268,050
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,216	581,996
現金及び現金同等物の中間期末残高	756,307	850,047

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
当座貸越極度額	250,000千円	250,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	250,000	250,000

(中間損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
給与手当	188,995千円	208,832千円

- 2 当社では、顧客企業の採用予算や広告予算の使用によって影響を受けるため、顧客企業への納期が2月～3月に集中する傾向があります。これにより、第2四半期会計期間における売上高は、他の四半期会計期間に比べて大きくなる傾向にあります。

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
現金及び預金勘定	756,307千円	850,047千円
現金及び現金同等物	756,307	850,047

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

当社は、ブランディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

当社は、ブランディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係の注記)

当社は、ブランディング事業の単一セグメントであり、主要な顧客との契約から生じる収益をサービスの種類別に分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
コーポレート支援領域	568,979	618,614
リクルーティング支援領域	310,612	327,436
顧客との契約から生じる収益	879,591	946,050
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	879,591	946,050